



卒業式 ～新たなる旅立ち～



3月12日、春の訪れを感じる青空の下、心温まる卒業式が行われました。

今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、小中学部卒業式と高等部卒業式を別にして挙行。出席者を卒業生、在校生の一部、卒業生の保護者、来賓数名、本校職員の一部に限ったり、会場設定や内容に配慮を講じたりした上での卒業式となりました。

中学部卒業生8名は、保護者の方が見守る中、自分のもてる力を十分に発揮して堂々とした姿で卒業証書を受け取ることができました。

卒業生とともに過ごしたたくさんの思い出は、中学部にとってかけがえのない宝物です。特に、この一年間は、後輩の手本として、優しく、明るく、頼もしく学部を引っ張ってくれた卒業生。学部で会えなくなるのはとても寂しいですが、一人一人が新しい場所で成長し、活躍していくことを心から応援しています。

卒業生の保護者の皆様方には、今まで中学部の教育活動にご理解とご協力をいただいたことに感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援をお願いしたいと思います。

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。



合格者発表！！－令和3年度入学者選抜－



3月4日（木）に令和3年度青森県立特別支援学校高等部入学者選抜の合格発表が行われました。本校でも発表時刻の9時を前に、受験生や保護者、学校関係者の方々が玄関付近に集まりました。合格発表掲示に合格者受験番号が示されると、あちらこちらから歓声があがりました。また、他校を受検した生徒は、ホームページで合格を確認し、クラスメイトと抱き合って喜びを分かち合っていました。合格、本当におめでとうございます！

大掃除をしました！



今年度も残りわずかとなりました。3月25日（木）特別清掃を行い、毎日の学校生活で使っている教室やトイレ、廊下をきれいに掃除しました。なかなか普段の掃除の時間だけでは手が届かないところまで、全員で丁寧に掃除をすることができました。自分たちで掃除をして校舎をきれいにすることも良い一年のまとめの学習になっています。

2011年3月11日を忘れない。

忘れることのない東日本大震災。2011年3月11日午後2時46分、宮城県沖を震源に起きたM9の地震と津波による震災。死者・行方不明者は約18400人。東京電力福島第一原発では、炉心溶融が発生し、今も4万人を超える人が避難しています。

震災から今年で10年目を迎えました。私の記憶では、当時の勤務校はちょうど下校時間と重なり、玄関付近に多くの児童生徒がいて、校舎が左右に大きく長く揺れていてとても驚き、怖かったことを覚えています。地震の状況を確認するために、すぐテレビをつけたところ、宮城県沿岸を大きな津波が襲い、見る見るうちに車、家、船など町全体をのみこんでいきました。とても現実とは思えないような悲惨な光景がテレビ画面から映されていました。

あれから10年が経ち大参事の様子の記憶は、時間とともに徐々に薄れてきています。今、我々にできることは、震災について考え続けることだと思います。被災して両親、親友など多くの方をなくされた方々からの体験談等が、よくテレビ等で放映されて、あらためて災害の恐ろしさと命の尊さを感じます。

二度と大惨事にならないために、そして大切な命を守るために今後必要なことは「日頃からいろいろな備えをしておくこと」と言われます。

具体的には「携帯電話の充電をしておく」「燃料等の補給をしておく」「水、非常食の点検、補充をしておく」「生活必需品の備えをしておく」こと。また、「日頃から地域の方に挨拶をすること」や、もし地震が起きたらどこに避難するのか「避難場所の確認をしておくこと」が大切です。

3月11日、本校では翌日に控える卒業式の予行がありましたが、児童生徒、職員で哀悼の意を込めて黙とうをささげるとともに、児童生徒とともに災害について考える機会としました。

4月 行事予定

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 7（水） 新任式 始業式（12時下校） | 20（火） 歯科検診 |
| 8（木） 入学式（12時下校） | 23（金） 心電図検査（1年生） |
| 12（月） 身体計測 | 26（月） 視力検査 |
| 13（火） 全校朝会 尿検査 | 27（火） 眼科検診 |
| 15（木） 耳鼻科検診 | 28（水） 避難訓練 |
| 16（金） 聴力検査 | 30（金） 参観日 PTA総会（12時下校） |
| 19（月） 新入生歓迎会 | |

※予定は変更になる可能性があります。その際には改めてお知らせいたします。

